

防犯対策委員会

発表日 平成30年7月3日
 発表者 防犯対策委員会 委員長
 十倉 康吉

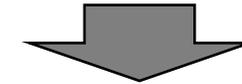
犯罪から見た日本の状況

「日本は凶悪犯罪が少なく安全な国である」

人口10万人あたりの殺人件数(世界194カ国)

世界平均 8.7件

日本 0.4件(193位/194カ国)



日本は、凶悪犯が少なく、世界の中でも安全な国である。

1

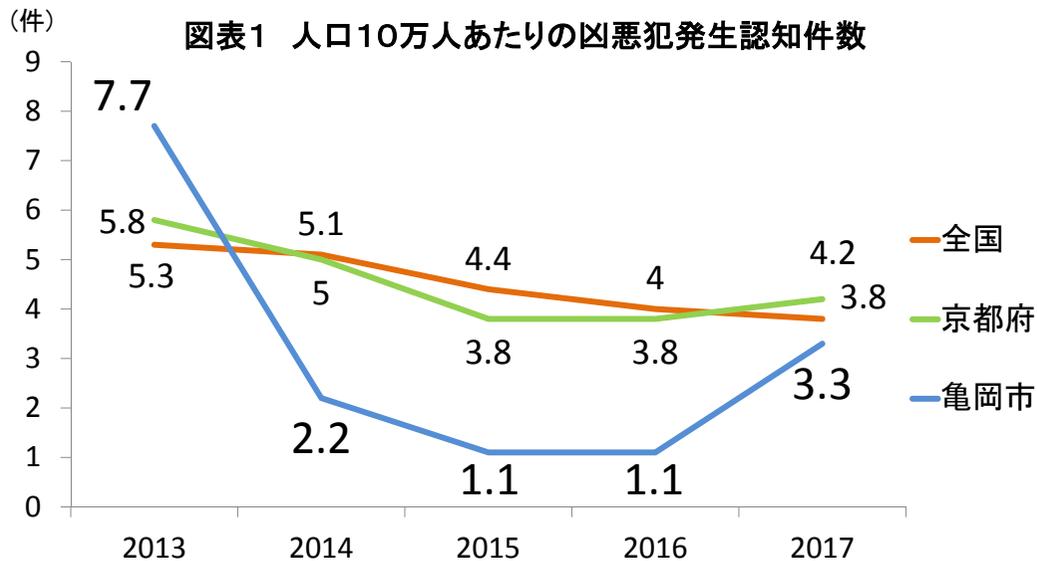
出典:世界保健機関(2012)

2

犯罪から見た亀岡市の現状

「亀岡市は犯罪による死傷が少なく安全である」

図表1 人口10万人あたりの凶悪犯発生認知件数

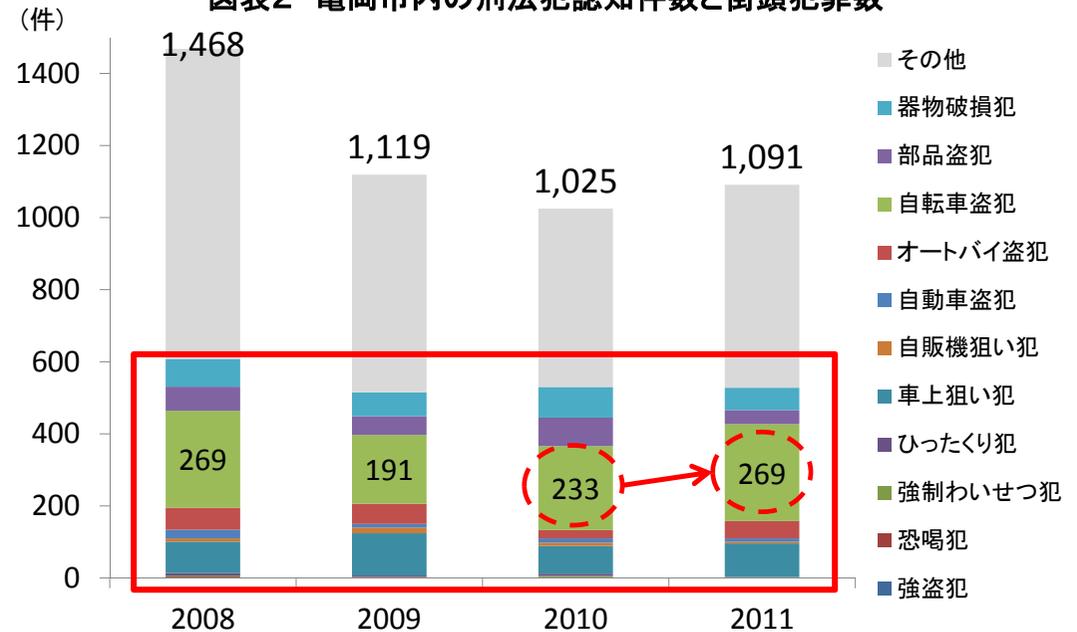


出典:犯罪統計書(2013-2017)

3

防犯対策の必要性

図表2 亀岡市内の刑法犯認知件数と街頭犯罪数



出典:犯罪統計書(2008-2011)

4

防犯対策の必要性

減少傾向であった刑法犯が2011年に増加し、特に自転車盗が15%増加した



2011年

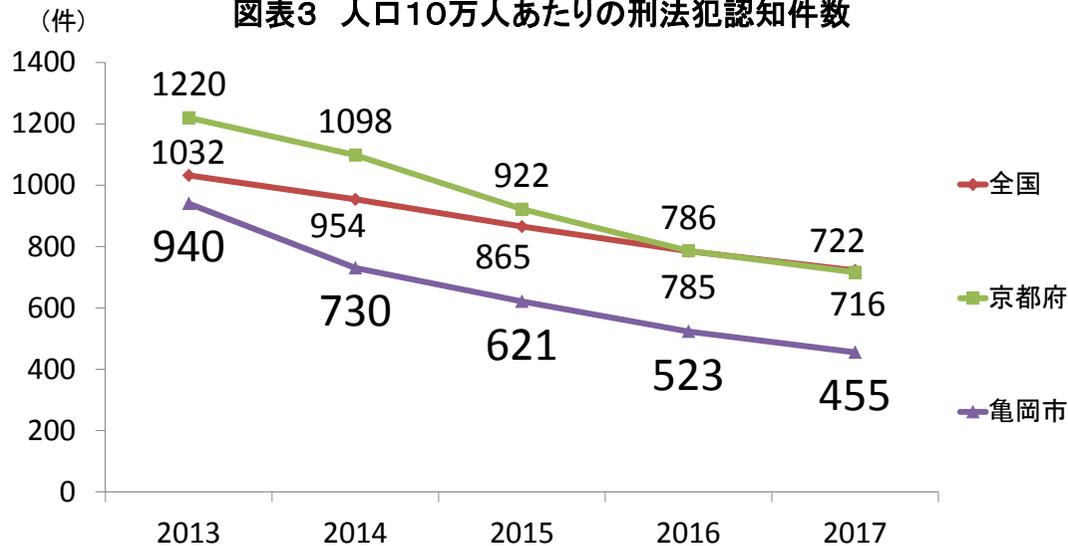
防犯対策委員会の設置

5

亀岡市の犯罪の現状

「亀岡市は全国、京都府と比較して犯罪が少ない」

図表3 人口10万人あたりの刑法犯認知件数



出典: 犯罪統計書(2013-2017)

7

防犯対策委員会構成

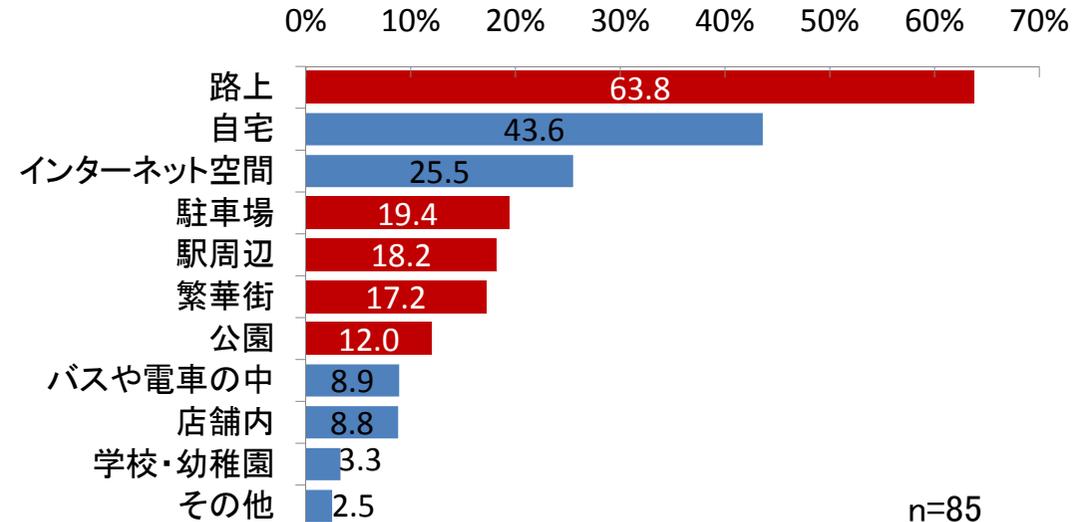
区分	所属団体	役職
市民団体等	1 亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長	委員長
	2 亀岡市青少年育成地域活動協議会 副会長	副委員長
	3 亀岡防犯推進委員連絡協議会 NEW	
	4 並河駅前防犯ステーション会議 会長	
関係機関等	5 京都学園大学経済経営学部 准教授 NEW	
	6 亀岡警察署生活安全課 課長	
	7 亀岡警察署地域課 課長	
	8 亀岡市立曾我部小学校 校長 NEW	
	9 亀岡市立東輝中学校 校長 NEW	
行政関係	10 京都府安心・安全まちづくり推進課 副課長	
	11 亀岡市総務部 部長	
	12 亀岡市学校教育課 課長	

6

データに基づく客観的課題

「半数以上の人々が屋外での犯罪に不安を感じている」

図表4 日常生活の中で犯罪に巻き込まれる不安がある場所



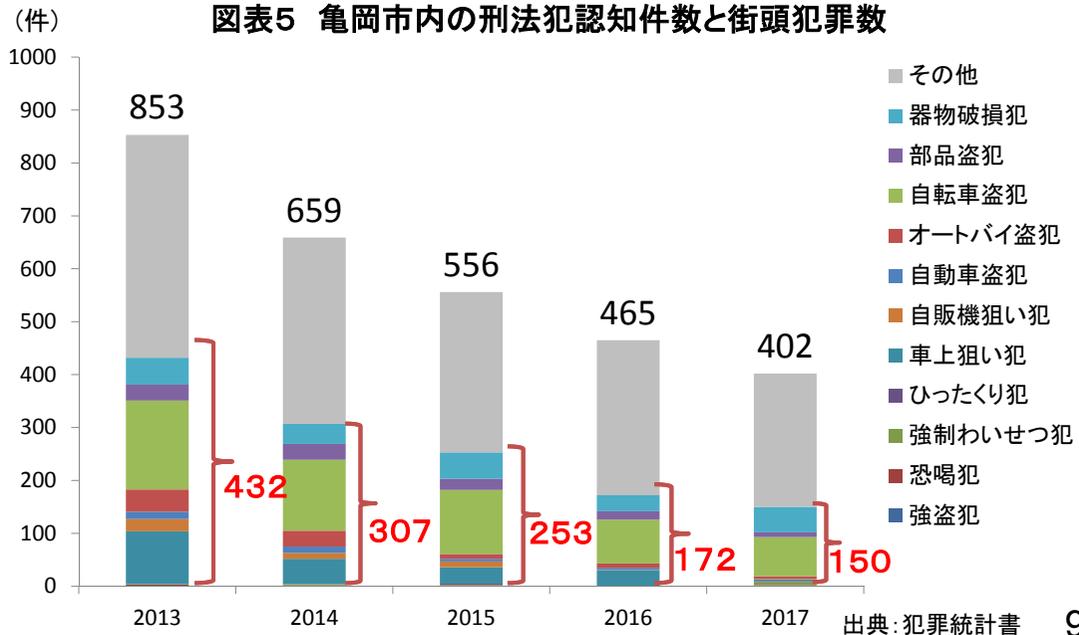
出典: 京都府警察本部(2016)

8

データに基づく客観的課題

「刑法犯全体の中で街頭犯罪が約半数を占めている」

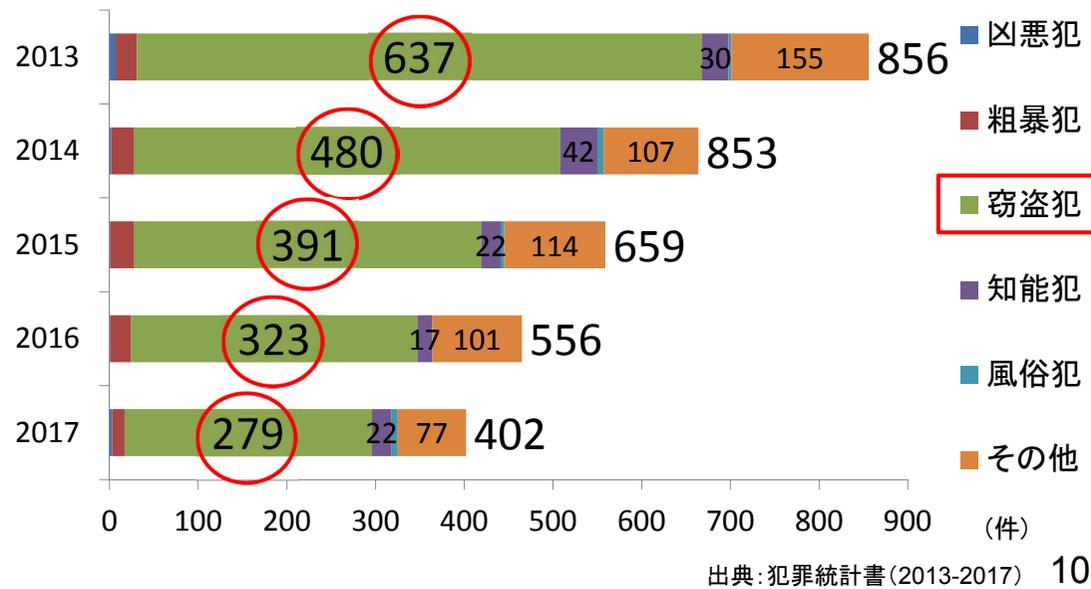
図表5 亀岡市内の刑法犯認知件数と街頭犯罪数



データに基づく客観的課題

「刑法犯の中では窃盗犯が最も多い」

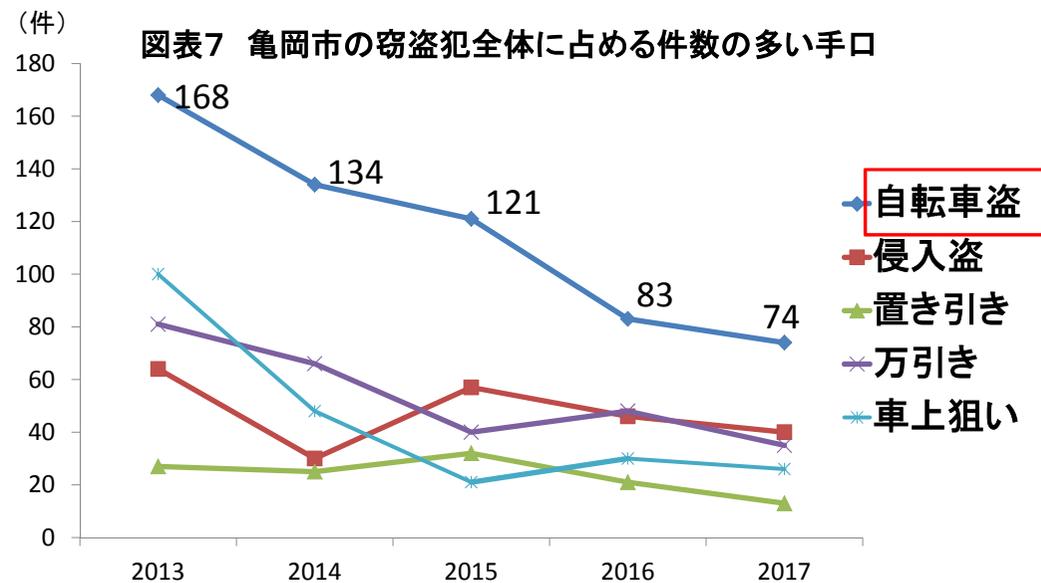
図表6 亀岡市の刑法犯認知件数の内訳



データに基づく客観的課題

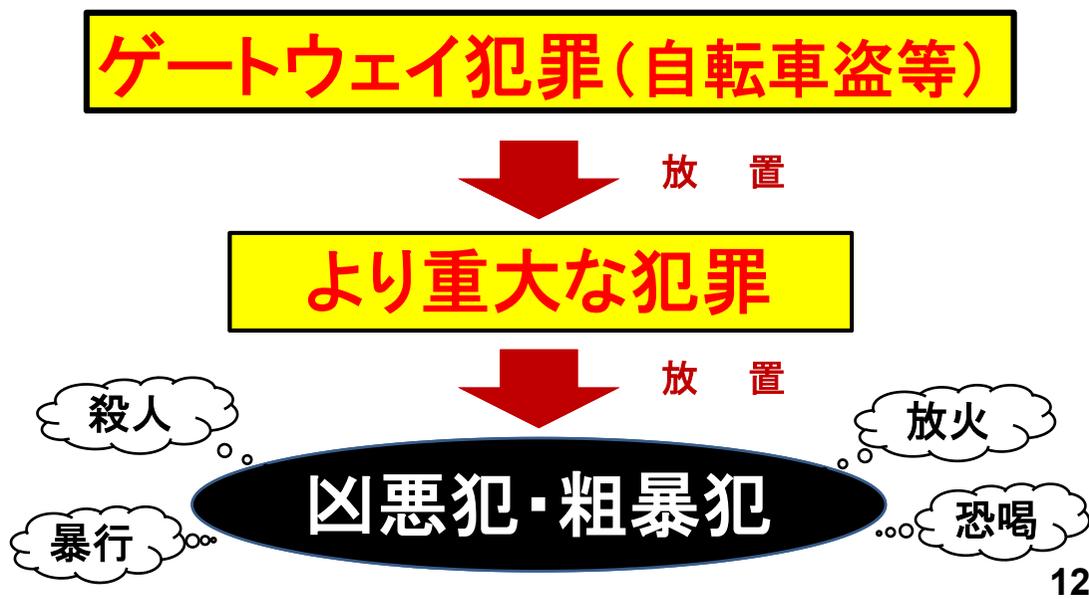
「窃盗犯の中では自転車盗が最も多い」

図表7 亀岡市の窃盗犯全体に占める件数の多い手口



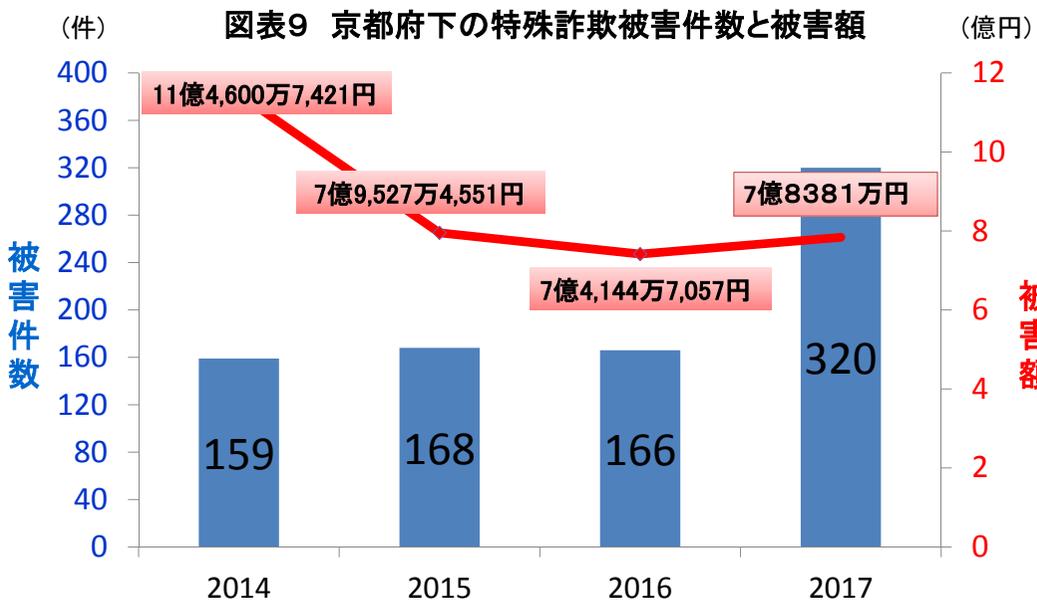
自転車盗は将来の重大な犯罪につながる
(割れ窓理論)

図表8



データに基づく客観的課題

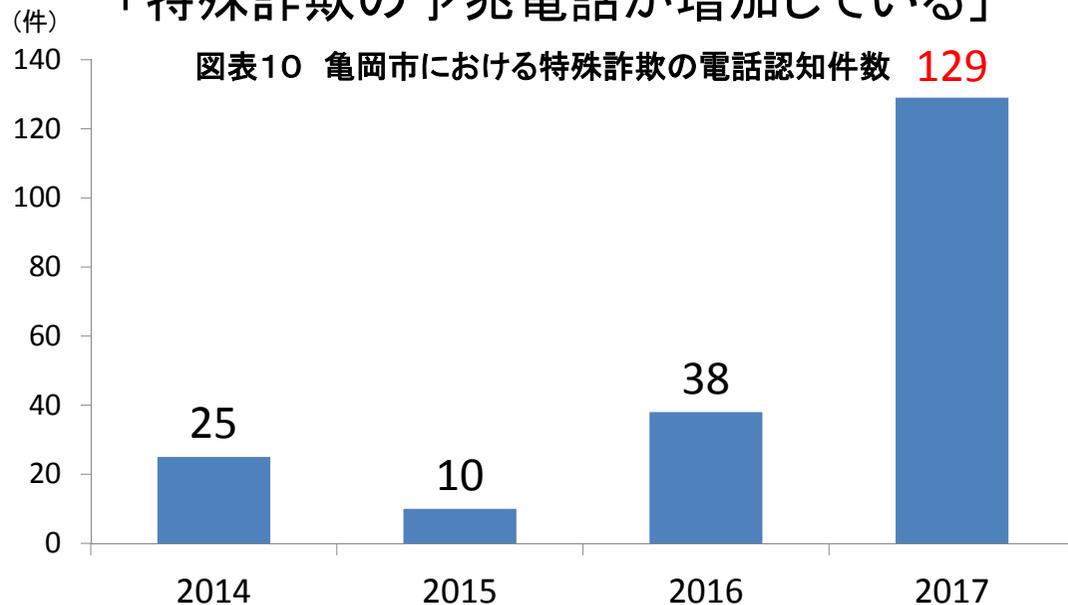
「特殊詐欺被害件数は増加し、被害額も大きい」



出典: 京都府警察本部 13

データに基づく客観的課題

「特殊詐欺の予兆電話が増加している」



出典: 亀岡警察署

14

主観的・客観的課題の整理

データに基づくもの	経験に基づくもの
<ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯全体の中で街頭犯罪の発生件数や街頭犯罪に不安を感じる人の割合が約半数を占めている(図表4、5) ・刑法犯全体の中では窃盗犯の割合が最も高い(図表6) ・窃盗犯の中では自転車盗が最も多い(図表7) ・特殊詐欺は被害額が大きく、電話件数が急増している(図表9、10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車盗は将来の重大な犯罪につながる(図表8) ⇒ 割れ窓理論(軽微な犯罪も徹底的に取り締まることで、凶悪犯罪を含めた犯罪を抑止できるとする環境犯罪学上理論 - 米 犯罪学者 ジョージ・ケリング考案)

重点課題の設定

15

課題解決のための方向性と対策

課題	方向性	対策
・特殊詐欺は被害額が大きく、電話が急増している	市民の防犯意識向上	①防犯意識向上プログラム
・刑法犯全体の中で街頭犯罪が約半数を占めている	自転車盗の防止	②固定防犯カメラ活用プログラム
	街頭犯罪全般の防止	③ドライブレコーダー活用プログラム

16

レベル別の対策

別添資料を御覧ください

レベル別対策の事例紹介 コンビニと連携し防犯訓練を実施



プログラムの運営状況

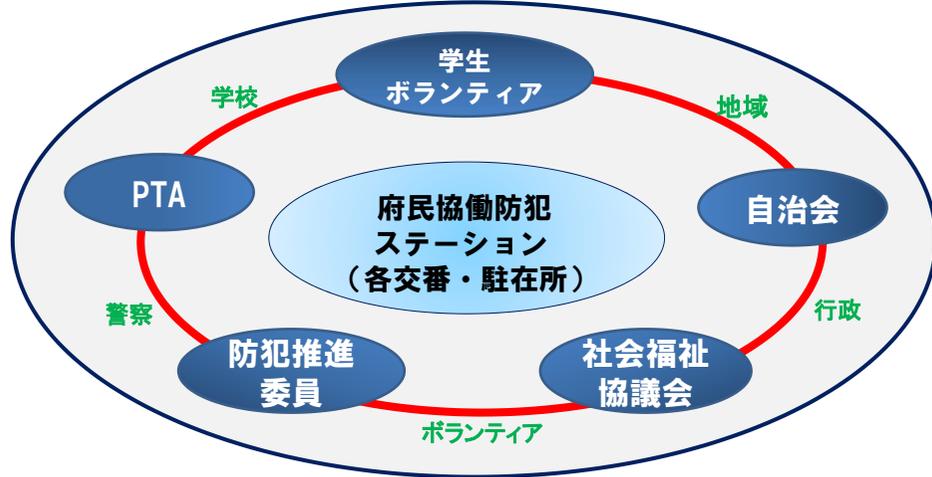
	再認証	進行状況					計画 (予定)
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
①防犯意識向上プログラム							→
防犯カメラ活用プログラム							→
	固定防犯カメラ活用プログラムとドライブレコーダー活用プログラムに移行						
②固定防犯カメラ活用プログラム							→
③ドライブレコーダー活用プログラム							→

①防犯意識向上プログラム

課題	特殊詐欺や自転車盗の被害が多い	
目標	特殊詐欺や自転車盗などの被害者の立場でも未然に防止することができるものの防犯意識を向上させる。	
内容等	【内容】	地域の安全安心に関わる様々な団体と行政・警察が一体となって防犯に関する情報共有や啓発活動等により多様化する犯罪に対して抑止策を図る。
	【対象】	亀岡市民(学生、高齢者を中心)
(短・中期) 態度や行動の変化	【指標】 府民協働防犯ステーション活動件数	【測定】 京都府警察本部へ照会
(長期) 状態や状況の変化	【指標】 自転車盗件数 特殊詐欺件数	【測定】 亀岡警察署へ照会 犯罪統計

防犯意識向上プログラムの活動状況

府民協働防犯ステーション



21

防犯意識向上プログラムの活動状況

府民協働防犯ステーションの活動事例

2017年 合計 3,494件の活動 (14ステーション)

- 小学校における不審者対応制圧訓練
- 幼稚園における不審者侵入訓練と人形劇
- 高齢者グループホームにおける防犯教室
- 敬老会での特殊詐欺被害防止の寸劇披露
- 振り込め詐欺対策講座開講
- 消防団との夜間合同パトロール
- レディースパトロール
- 高校野球部員との児童見守り活動
- 小学校での防犯寸劇披露
- 保育所における防犯教室
- 登下校時の見守り活動や祭などの警備活動

23

防犯意識向上プログラムの活動状況

府民協働防犯ステーション会議



ワークショップの様子



各ステーションが交流しワークショップを実施

22

防犯意識向上プログラムの活動状況

6/9(ロックの日)街頭啓発



愛錠啓発



対策委員会の委員、市内の防犯ボランティア、高校・大学生が協力して自転車盗対策の啓発活動

24

防犯意識向上プログラムの活動状況

防犯推進委員による寸劇



老人会での啓発



対策委員会の委員や警察、防犯推進委員による高齢者への特殊詐欺警戒の呼びかけ

25

防犯意識向上プログラムの活動状況

青色防犯パトロール



青パト台数121台
(2018年1月末現在)

亀岡市内23団体、合計台数121台の青色防犯パトロールによる市内全域での啓発・見守り活動

26

防犯意識向上プログラムの活動実績

	実績					対策委員会の関わり	工夫点
	2013	2014	2015	2016	2017		
防犯に関する合同啓発活動	2回	2回	2回	5回	2回	啓発活動への参加(駅前での自転車盗や特殊詐欺被害防止啓発等)	街頭活動や広報紙など多様な啓発の実施
府民協働防犯ステーション活動件数		2,758件	4,287件	3,304件	3,494件	委員が各ステーションの活動に参加	防犯ボランティアや自治会など、様々な立場の方が参加

27

プログラム評価結果(短期・中期)

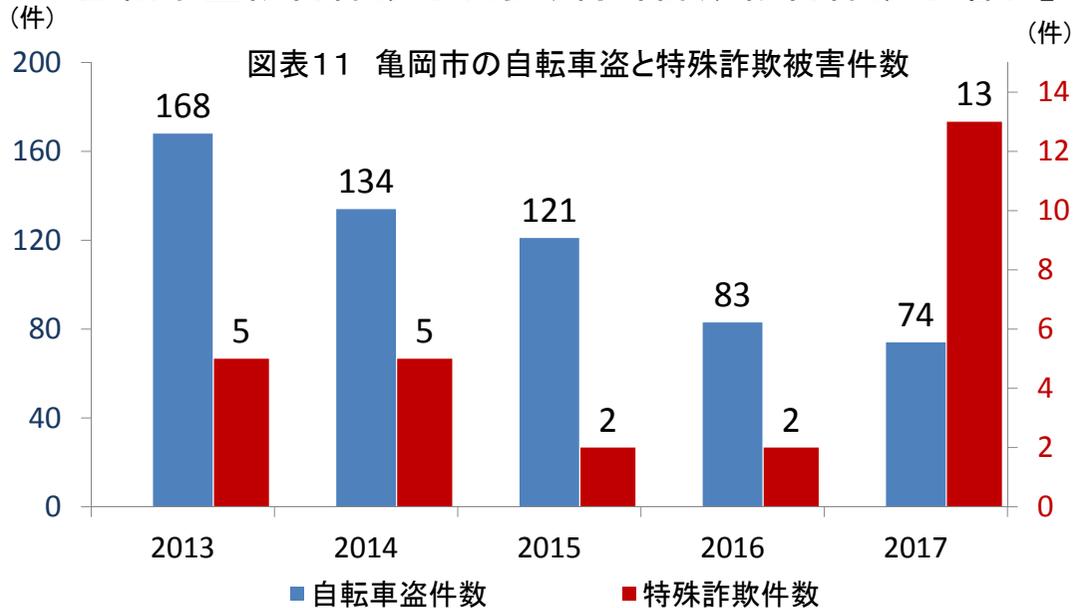
府民協働防犯ステーション 活動件数				
短・中期	2014	2015	2016	2017
活動件数	2,758件	4,287件	3,304件	3,494件

出典:京都府警察本部(2014~2017)

28

プログラム評価結果(長期)

「自転車盗被害件数は減少、特殊詐欺被害件数は増加」



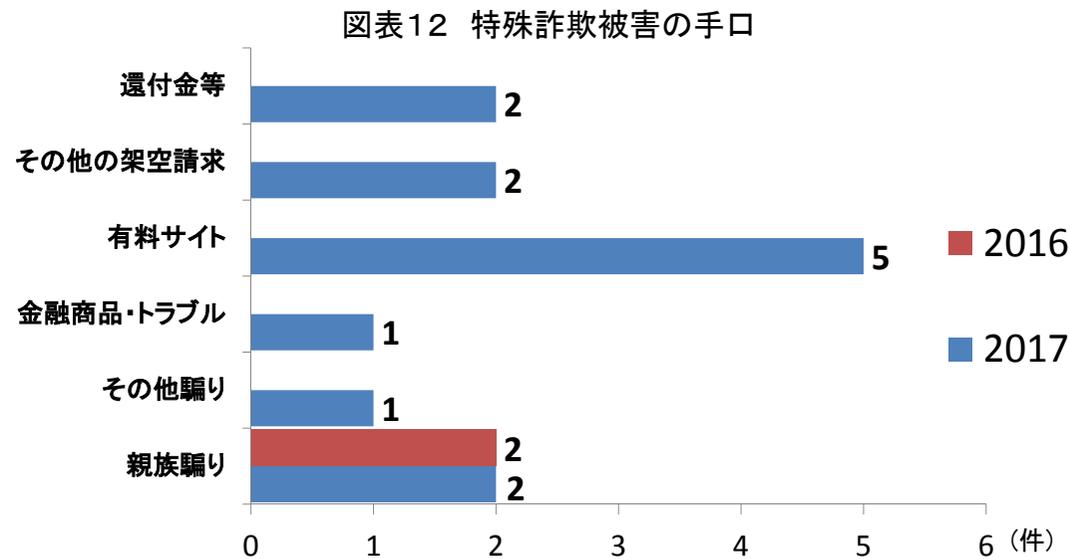
出典: 犯罪統計書(2013-2017)

②固定防犯カメラ活用プログラム

課題	街頭犯罪の中でも特に自転車盗が多い	
目標	自転車盗を防止する	
内容等	【内容】	防犯カメラを設置することで自転車盗を防止する。
	【対象】	亀岡市民
(短・中期) 態度や行動の変化	【指標】 防犯カメラ認知率	【測定】 セーフコミュニティアンケート調査
(長期) 状態や状況の変化	【指標】 街頭犯罪認知件数 自転車盗数	【測定】 犯罪統計

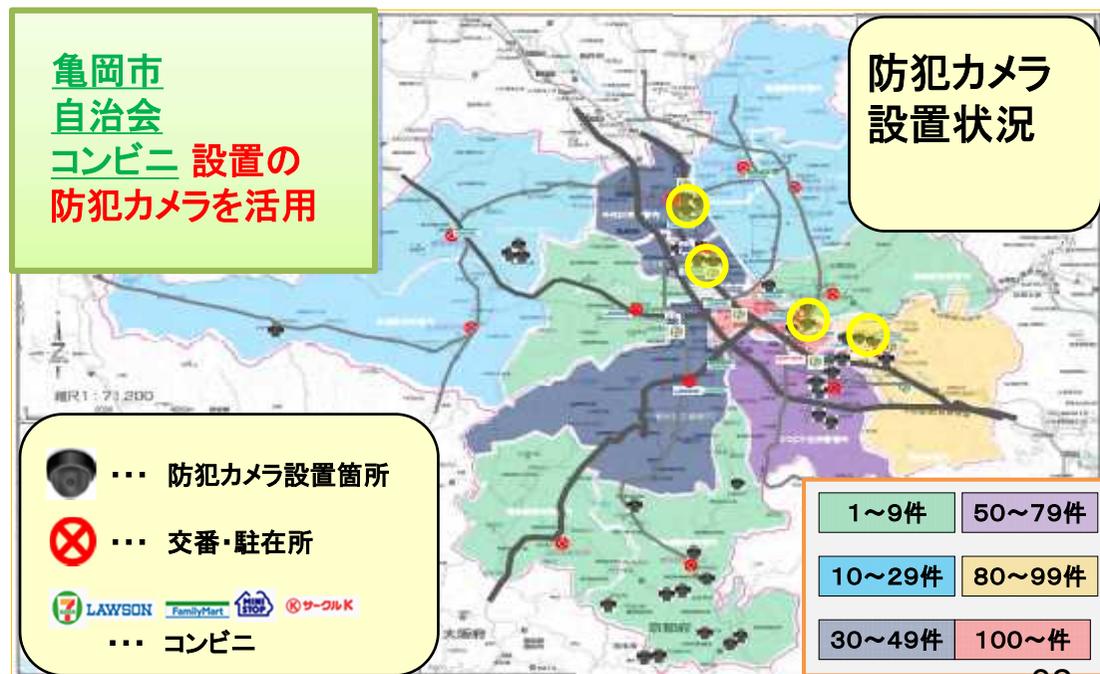
プログラム評価結果(長期)

「特殊詐欺では有料サイトによる被害が増加している」



出典: 亀岡警察署

固定防犯カメラ活用プログラムの活動状況



固定防犯カメラ活用プログラムの活動状況

●**亀岡市 15台**

●**自治会 30台**

●**コンビニ 44台** (店外撮影用)

〈かめおかコンビニセーフティネットワーク加盟店29店舗〉

合計 89台で見守り



固定防犯カメラ活用プログラムの活動実績

	実績					対策委員会の関わり	工夫点
	2013	2014	2015	2016	2017		
防犯カメラ設置	亀岡市 → 5台 2台追加 2台追加 1台追加 -					●効果的な設置箇所の検討	犯罪多発場所に設置
	自治会 → - - 5台 12台追加 4台追加						
かめおかコンビニセーフティネットワークとの連携	-	-	-	29店舗 43台	29店舗 44台	●防犯カメラ設置状況の確認	店外撮影の防犯カメラ有効活用

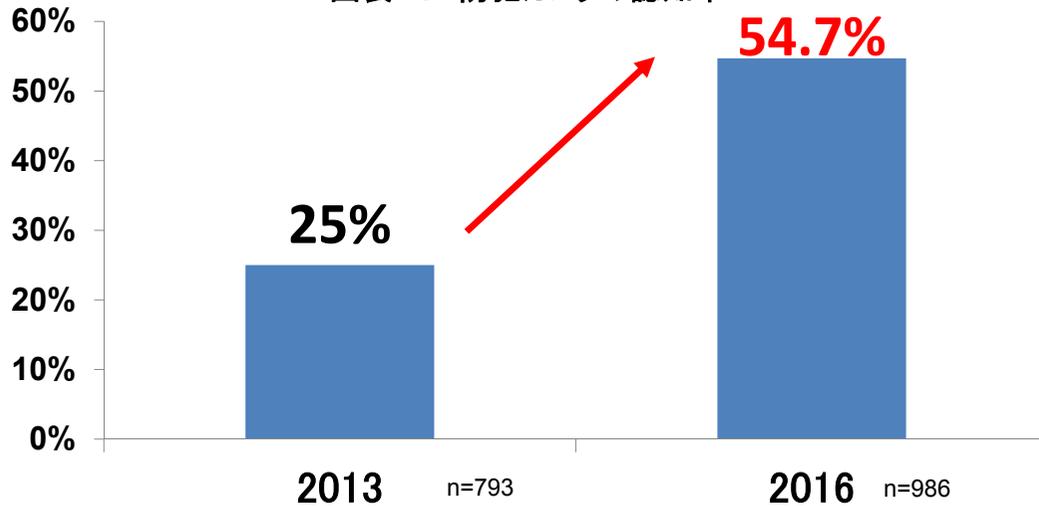
33

34

プログラム評価結果(短期・中期)

「防犯カメラの設置認知率は向上」

図表13 防犯カメラの認知率



出典: 亀岡市セーフコミュニティアンケート調査

35

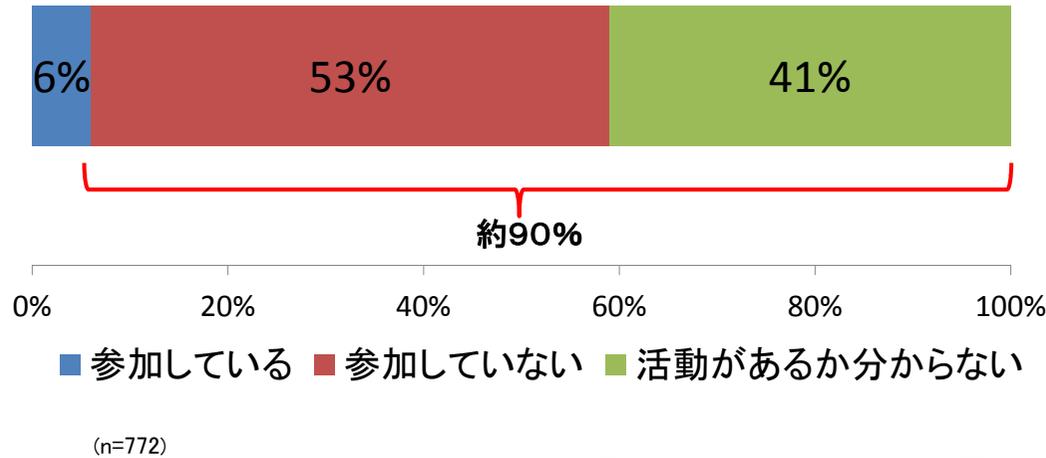
③ドライブレコーダー活用プログラム

課題	自転車盗等の街頭犯罪の件数が多い	
目標	街頭犯罪全般を防止する	
内容等	【内容】	市民や市内企業が設置しているドライブレコーダーを活用し、「まちの見守り体制」を充実・強化することで、犯罪・交通事故発生を抑止と早期解決を図る。
	【対象】	亀岡市民、市内企業・団体
(短・中期) 態度や行動の変化	【指標】 見守り協定認知率 「まち・レコ」プロジェクト認知率	【測定】 セーフコミュニティアンケート調査
(長期) 状態や状況の変化	【指標】 街頭犯罪認知件数 自転車盗数	【測定】 犯罪統計

36

ドライブレコーダー活用プログラムに係る参考データ
「地域の防犯活動には約90%の人が参加していない」

図表14 防犯活動への参加状況



出典：2016年亀岡市セーフコミュニティアンケート調査 37

ドライブレコーダー活用プログラムに係る参考データ

「防犯活動に参加したくない人でも、いつでも自由に
参加できる活動であれば参加しても問題はない」

○防犯ボランティア活動に参加したいと思わない
理由は何ですか？

忙しくて時間がないから・・・63.0% (n=652)

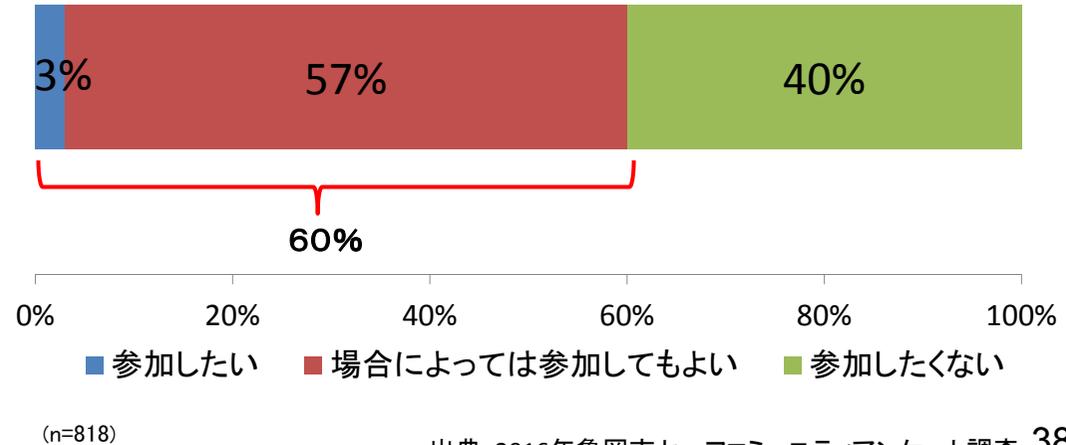
○どのような防犯ボランティア活動であれば、参加
してもよいと思えますか？

自由に参加できる・・・46.5% (n=634)

出典：2015年 第4回「京都府の治安」に関するアンケート

ドライブレコーダー活用プログラムに係る参考データ
「防犯活動には60%の人が参加してもよいと感じている」

図表15 防犯活動に参加していない人の活動への参加意欲



出典：2016年亀岡市セーフコミュニティアンケート調査 38

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

ドライブレコーダーによるまちの見守り協定



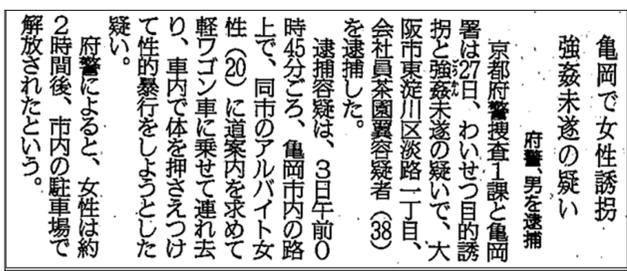
事業者・亀岡警察署、亀岡市の三者が連携

バス会社、タクシー会社、新聞会社、社会福祉法人、
電力会社、警備会社、宅配会社、建設会社と協定締結

合計11社 420台(2018年4月時点)

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

ドライブレコーダーによるまちの見守り協定



→ 市内で発生した2件の事案解決の決め手に

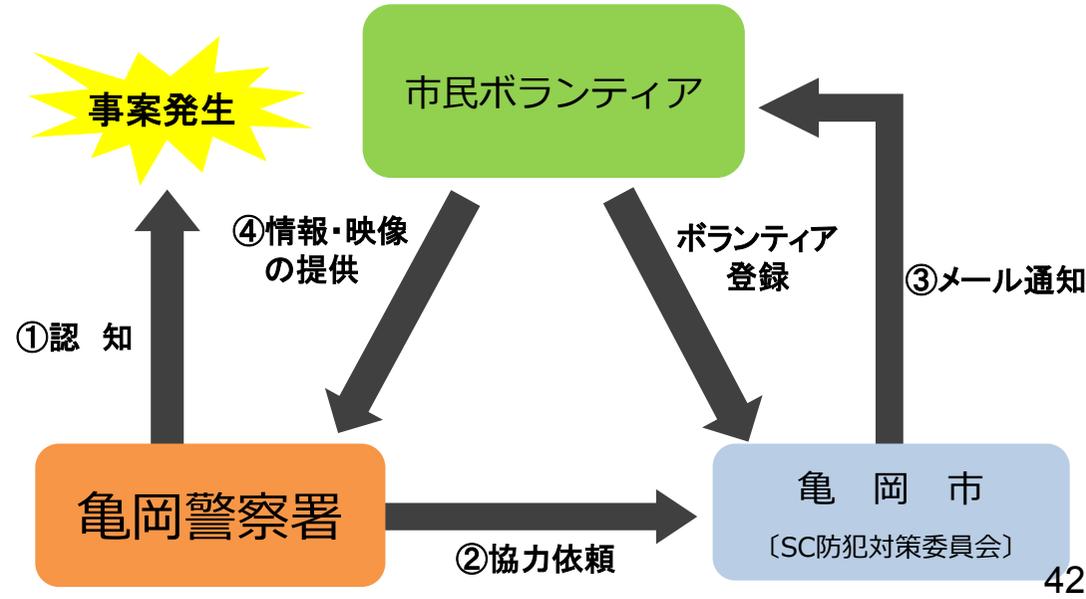
ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト



ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト



ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト



シンボルマークのデザインを交通安全対策委員会と合同で審査・決定

応募総数81点

かめおか「まち・レコ」プロジェクト

交通安全対策委員会と合同表彰式



45

	実績				対策委員会の関わり	工夫点
	2015	2016	2017	2018		
ドライブレコーダー協定締結	内容検討	新規5社	新規3社	新規3社	企画の発案、締結企業の提案	様々な時間帯に広範囲で活動している企業を選定
「まち・レコ」プロジェクト運用		内容検討	9/21より開始	参加車両99台(5/2現在)		

46

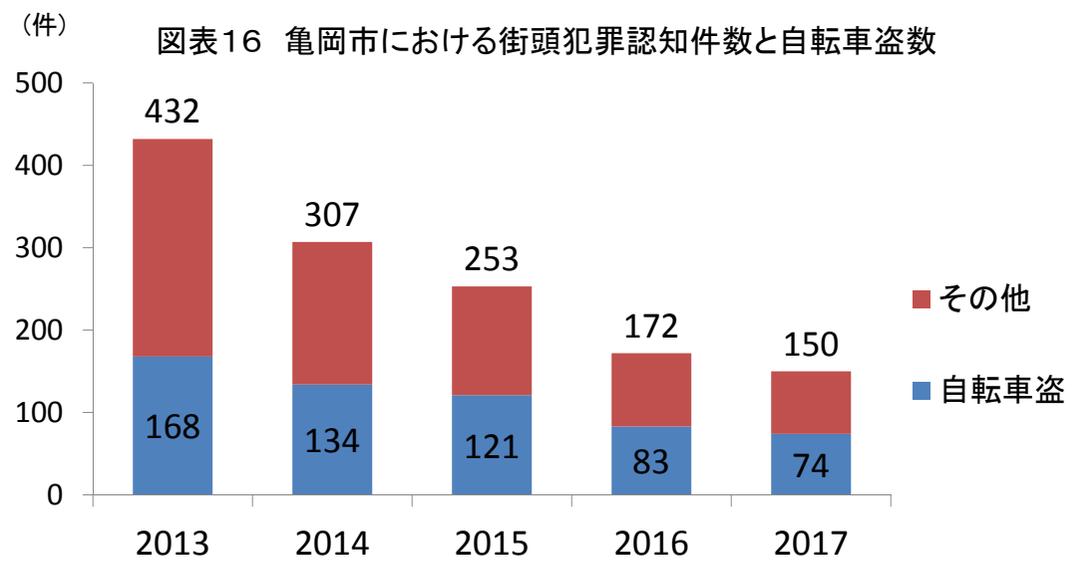
プログラム評価結果(短期・中期)

「ドライブレコーダーによるまちの見守り協定」の認知率	
短・中期	2016
見守り協定の認知率(%)	29.4%

出典: 2016年 亀岡市セーフコミュニティアンケート調査

47

プログラム②、③に関する評価結果(長期)
「街頭犯罪と自転車盗は減少している」

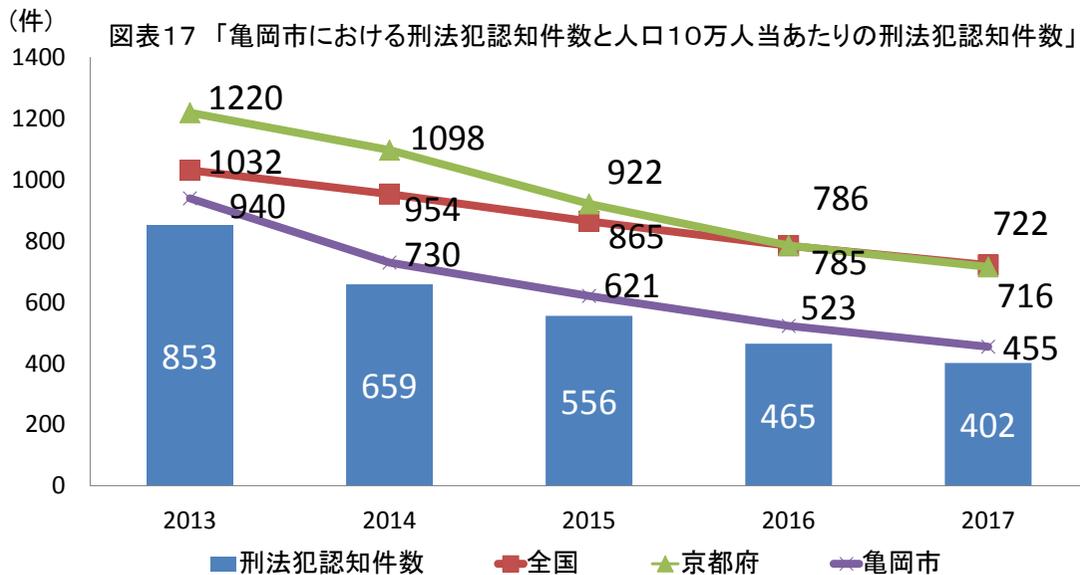


48

取組成果の検証

「犯罪発生件数は大幅に減少している」

図表17 「亀岡市における刑法犯認知件数と人口10万人当たりの刑法犯認知件数」

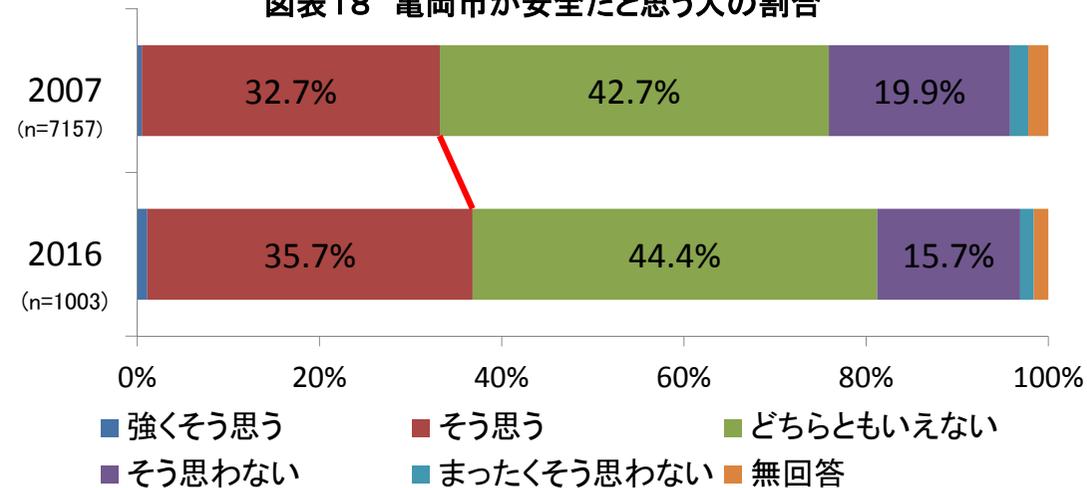


出典：犯罪統計(2013-2017) 49

取組成果の検証

「安全と思う人が増加し、安全と思わない人が減少した」

図表18 亀岡市が安全だと思う人の割合



出典：亀岡市セーフコミュニティアンケート調査 50

気づきや変化

対策委員会の中で、行政だけでは考えつかないような取組が発案され、より多くの団体・企業と防犯対策に関する連携を図ることが出来た。

まち・レコプロジェクト

ドライブレコーダーによるまちの見守り協定

現在の課題

『かめおか「まち・レコ」プロジェクト』への市民ボランティアの参加が少ない。

